

な るほど その4 本願寺

菊の間

対面所の西に続く菊の間は、襖に濃彩で種々の垣根と秋花や菊を描いて、清楚で華麗な趣きが漂っています。



雀の間

© Hongwanji



菊の間

© Hongwanji

雀の間

対面所の西にある雀の間には、竹林の中を生き活きと飛び回る雀が描かれています。68羽描かれたとされているのに実際は66羽。あまりにも活きが良すぎて2羽抜け出したのでしょうか？

別名「抜け雀の間」とも呼ばれています。



ご巡教時、善教寺本堂にて帰敬式される門主



ご門主(勝如上人)との集合写真



善教寺前の沿道にて、門主をお迎え中

おそらく、ご巡教に来られた、勝如上人(大谷光照本願寺門主)の神々しい後光が差した雰囲気、皆さん圧倒されたことでしょう。
写真を見終り、当時と全く同じ本堂に座し瞑想して、ご巡教当時を思いを馳せてみました。

住職シター

昔の善教寺資料を閲覧しておりましたら昭和三十二年五月三十日の勝如上人(大谷光照本願寺第二十三代門主)ご巡教の写真を発見しました。

昭和三十二年当時、本願寺の門主が、一般の寺院をご巡教されるという価値観は、どういったものであったのでしょうか。戦後復興が落ち着いた頃、これから高度経済成長に向かう時、全てが明るく希望に満ち溢れていたのかもしれない。写真の中の皆さんは、とても素敵な顔でした。